

令和7年度車中避難訓練実施要領

1 訓練の目的

災害協定に基づき民間事業者の協力のもと、車中避難場所開設や避難誘導などの実動訓練を行うことで、担当職員の災害対応力の強化及び協定締結先との連携強化を図るとともに、外部団体からの助言を得つつ検証を実施し、車中避難場所の開設運営マニュアル及び風水害に備えた車中避難の手引きの見直しを行い、災害体制の強化につなげていくことを目的とする。

なお、同訓練は、令和元年度に関東地方に上陸した台風第19号の気象情報を想定し、必要最小限の付与データ（発災の季節、曜日、時刻、天候等）から訓練参加者に具体的な災害状況等を前提に、どのような意思決定と役割行動が求められるのか検証していく訓練となる。

2 災害想定

令和元年10月6日午前3時に南鳥島近海で発生した台風第19号は、大型で猛烈な台風に発達した後、日本の南を北上した。

台風は、大型で強い勢力を保ったまま、同月12日19時前に伊豆半島に上陸し、関東地方を通過、この台風の影響により、同月10日から13日までの総降水量が、東日本を中心に17の地点で500ミリを超える大雨となり、特に静岡県や新潟県、関東甲信地方、東北地方の多くの地点で3時間、6時間、12時間及び24時間降水量の観測史上1位の値を更新する記録的な大雨となった。

〈車中避難場所開設までの経過〉

10/10	15:00	(想定)臨時防災対策会議 気象防災アドバイザーの助言に基づき今後の対応を検討する。 ＜決定事項＞ 甚大な被害を及ぼすことが想定されるため、明日午前10時に災害対策本部を設置し、自主避難所を58箇所開設する。
10/11	10:00	(想定)災害対策本部設置
	10:30	(想定)自主避難所58箇所開設
	11:00	(想定)災害対策本部会議 ＜決定事項＞ 明朝に大雨・暴風警報が発表される可能性が高い。 警報発表をトリガーとして高齢者等避難を発令し、開設中の自主避難所58箇所を指定避難所に格上げするとともに、車中避難場所11箇所を開設する。
10/12	12:30	(想定)危機管理課は、協定に基づき民間事業者に対し、車中避難場所開設に向けた事前準備のため、店舗管理者と連絡を取る。
	6:41	(想定)大雨警報(浸水)発表、暴風警報発表
	7:00	(想定)高齢者等避難発令
	7:00	(想定)指定避難所58箇所開設(自主避難所から格上げ)
	7:30	(想定)本部長指令により、午前9時に車中避難場所11箇所を開設指示
	7:35	(想定)危機管理課は、協定に基づき民間事業者に対し、午前9時をもって、車中避難場所を開設させていただくことを連絡する。

3 訓練要綱

- (1) 日時 8月21日 午前8時30分～午前10時00分
(2) 場所 ヤマダアウトレット&ホビー館野田店（野田市柳沢279番地の1）
(3) 車中避難訓練参加者名簿（敬称略）
（協力事業者）

ヤマダアウトレット&ホビー館野田店 店長 ハギノヤ ノブヨリ 萩野谷 信頼 様

（専門知識を有する者）

特定非営利活動法人首都圏防災士連絡会 本部理事（企画調整担当） ナカムラ トシタカ 中村 利孝 様

特定非営利活動法人首都圏防災士連絡会 研修企画副部長 コンドウ コウジ 近藤 恒史 様

（事務局）

野田市危機管理部危機管理課職員
車中避難担当職員

(4) 訓練想定

（訓練想定）

あなたは、市役所に出勤中です。

10月12日の午前7時に高齢者等避難を発令しました。

市役所にも市民からの問合せが多数来ています。

本部長から午前9時00分に車中避難場所を開設するよう指令がありました。

天気は雨。最大瞬間風速20メートルを超えることもあります。

(5) 訓練の流れ

08:30	危機管理課は、車中避難担当職員に車中避難場所開設のため、市役所地下駐車場に集合するよう連絡する。
08:35	車中避難担当職員は、協定締結事業者に対し車中避難場所に向け出発する旨を連絡する。 車中避難担当職員は、公用車に必要な資機材等を積載し車中避難場所に出発。
08:45	協定先施設管理者及び関係者と顔合わせを行う。 ● 挨拶 ● 訓練説明
09:00	車中避難場所開設／訓練開始 避難者の受入(暴風雨の最中と想定して行う)
09:50	(想定)開設の翌日 今後河川の水位上昇や天候悪化の予想がないことから、高齢者等避難の指示を解除し、指定避難所及び車中避難場所を閉鎖する ● 閉鎖準備 ● 閉鎖
10:00	訓練終了、解散 到着後反省点や意見を共有

(6) 訓練の視点

- 車中避難担当職員の開設準備をどのようにして円滑に進めるのか（受付等も含む。）
- 車中避難場所開設後、自動車の動線をどのようにするのか（ゾーニングも含む。）
- 車中避難場所の開設していることをどのように市民に伝えるのか（のぼり旗等も含め。）
- 車中避難場所開設後のトイレをどうするのか
- 協定事業者との連絡体制をどうするのか（台風等の際の店舗の閉鎖等について、事前の取り決めがあれば伺っておく。）
- 10月11日午前10時30分に自主避難所開設のタイミングで車中避難場所開設を依頼した場合の想定も検討すること（営業中の対応）
- 今回の訓練は一時的な滞在を想定しているが、車中泊となった場合の問題点などもあわせて検討する
- 車中避難場所の開設から閉鎖までの一連の中で必要な資機材がないのか検証をする
- 市が作成したマニュアルに問題がないのか検証をする

(7) 訓練後の検証

訓練実施後、市役所会議室にて特定非営利活動法人首都圏防災士連絡会中村様、近藤様と危機管理課職員でマニュアル等の見直しを検証していく。